



進取

461輪の花たちよ、今が盛りと咲きほこれ

校長 東 徹郎

令和7年度も、早くも2か月が経とうとしています。今年は何んと九州南部が観測史上初、沖縄よりも早く梅雨入りしました。そんな中、元気いっぱいの子供たちの声が、毎日学校中に響いています。各教室の学習の様子を見て回ると、落ち着いて集中して取り組んでいる様子が見られ、どの学級も良いスタートを切ることができたように思います。

5月22日に「1年生を迎える会」を実施しました。6年生手作りの首飾りのプレゼントをもらったり運営委員会が考えた阿久根小学校クイズで楽しんだりしました。全校一同そろっての行事は初めてで、大変盛り上がりました。最後に、「それぞれの学年らしい姿で生活し、一つ下の学年のよいお手本になってほしい。」と伝えました。1年生が退場するときや運営委員のみんなが役割を終わって戻るときに、大きな拍手が沸き起こりました。みんなで褒め合える姿は、阿久根小学校の子供たち先生方のいいところだと思いました。他の行事でも、お互いを認め合い高め合える「461輪の花が咲きほこり、自ら考え行動できる我らが阿久根小学校」にしていきたいと思います。

国語の学習で、インタビューしたことを記事にまとめる活動があります。6年生の子供たちから「なぜ、学校の先生になろうと思ったのですか。」という質問がありました。思い出してみました。親の思いを汲み、教育学部に進んだものの、本当に教師になるのがいいかどうか悩んでいました。当時、教師という職業にこれといった魅力を感じていませんでした。大学3年生の頃だったでしょうか。ある日の朝、車で信号待ちをしていると、横断歩道を歩いていた小学校低学年の男の子が、車道で倒れている犬に気づいて近寄り、その犬を抱えて道路の脇にそっと置いて、学校に向かっていきました。その少年のとった行動に驚くと同時に、教師になれば、そんな子供たちに出会えるのだろうと思ったのが、将来の職業にしようと考えた一つのきっかけでもあります。躊躇なく慈悲深い行動ができる子供。心から感謝の言葉が言える子供。相手の気持ちにより添える子供。一生懸命に汗を流し、努力をする子供。これまでに、そういった子供たちの姿にたくさん出会うことができました。阿久根小学校の子供たちとの感動場面の出会いに期待しています。

【お願い】

先日のPTA総会でもお伝えしましたが、お子さんの送り迎えの際、学校近くの会社等(山口紙店、鹿児島銀行、あくね学童ほか)に許可なく駐車しての乗降は、しないようお願いいたします。交通の妨げにならないところ、しかも安全なところで送り迎えをしてください。子供たちには、ルールを守っている大人の姿を見せてあげるようにしましょう。